

6. きょう土をひらく

(1) すいる 水路を ひらく

おくにしちほんぎ ちく すいでん
雄国七本木地区の水田
のようす
の様子➡



水はどこから

どこから水を引いてきたのか話し合いました。

ようすいろ せいしき
雄国用水路は正式
には「雄国掘抜堰」
とよばれています。



「こんなに広い田には、たくさんの水
ひつよう
が必要だね。」



「いったい、これほど多くの水はどこ
から来ているのかな。」



「きっと、近くの大塩川からたくさん
おおしお
の水を引いてくるんじゃないかしら。」

みんなは、地図や写真しゃしんを見ながらそれぞれどこから水が引かれてくるか、よそうを出し合いました。

話し合った後で、先生が次のような話をしてくださいました。



「おぐにぬま雄国沼の水は以前いぜん、そのほとんどが
ひばら檜原地区に流れていました。でも、今
から約350年前しんでんに新田を作るために雄国沼から
水を引いてきたのです。それは、ようすいろ雄国用水路